

# 環境経営レポート



## 新潟タイヤ株式会社

対象期間：2022年4月～2023年3月

発行日：2023年7月10日

# 1. 組織の概要

- 事業所名及び代表者氏名

新潟タイヤ株式会社  
代表取締役 込山 芳廣

- 所在地

本 社 : 新潟県新潟市東区藤見町 1 丁目 23 番 29 号  
ミスタータイヤマン藤見 : 新潟県新潟市東区藤見町 1 丁目 23 番 29 号  
流通営業所 : 新潟県新潟市西区流通センター6丁目3番地3  
タイヤチップ工場 : 新潟県北蒲原郡聖籠町大字蓮湯 2998 番 2 号

- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 産業廃棄物部部长 : 石倉 孝 TEL : 0254-27-7942  
FAX : 0254-27-7943  
担当者 本社 課長 : 伊藤 至 TEL : 025-271-3111  
FAX : 025-271-3113

- 事業活動の内容

自動車タイヤ販売及び関連用品販売、メンテナンス  
産業廃棄物処分業(中間処理/廃プラスチック類)・産業廃棄物収集運搬業(廃プラスチック類)

- 事業の規模

創業/設立 創業 大正 15 年 1 月/設立 昭和 29 年 2 月  
資本金 4,000 万円  
売上高 7 億 3 千 4 百万円/2022 年度

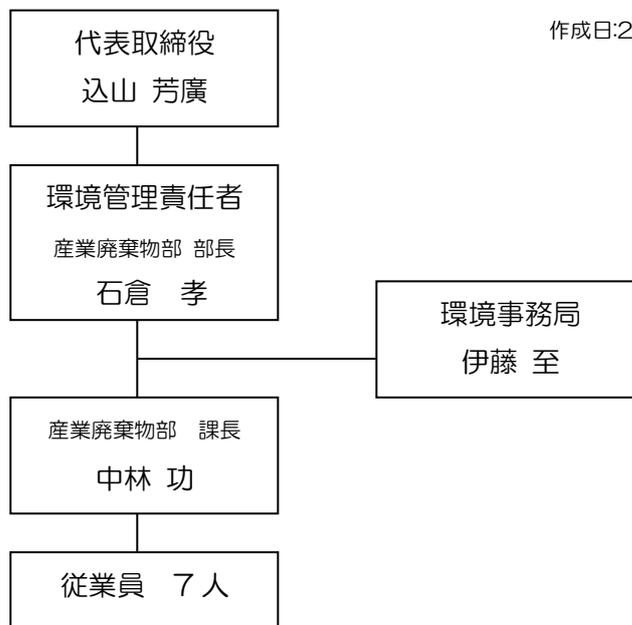
	本 社	ミスタータイヤマン 藤 見	流通営業所	タイヤチップ工場
従業員数	13 名	3 名	8 名	9 名(パート 2 名)
延床面積	993.38 m <sup>2</sup>		560.16 m <sup>2</sup>	151.49 m <sup>2</sup>

## 2. 対象範囲、実施体制及び事業概要

### (1) 対象範囲

- 登録組織名 : 新潟タイヤ株式会社 タイヤチップ工場
- 対象事業内容 : 産業廃棄物処分 (中間処理/廃プラスチック類)  
産業廃棄物収集運搬
- 対象外 : 本社  
: ミスタータイヤマン藤見  
: 流通営業所
- EA21 実施体制

作成日:2023年7月10日



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境経営に関する統括責任</li> <li>• 経営における課題とチャンスを整理し明確にする</li> <li>• 効果的で必要十分な実施体制を構築する</li> <li>• 環境経営方針の策定、見直し</li> <li>• 環境管理責任者を任命</li> <li>• 代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境目標、環境活動計画書を承認</li> <li>• 環境活動レポートの承認</li> <li>• 是正/予防処置の指示</li> <li>• 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>• 環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>• 環境目標、環境活動計画書を確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境管理責任者の補佐</li> <li>• 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施</li> <li>• 環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>• 環境活動の実績集計</li> <li>• 環境活動レポートの作成</li> </ul>
産業廃棄物部 課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境活動の取組みの監督</li> <li>• 環境経営方針の全従業員へ周知</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚</li> <li>• 問題点の発見、是正、予防処置</li> <li>• 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## (2) 産業廃棄物許可の内容

### 1) 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業の取得状況

	許可の種類	事業の範囲	許可番号
新潟県	産業廃棄物収集運搬業 許可の年月日 平成 30 年 9 月 24 日 許可の有効年月日 平成 35 年 9 月 23 日	廃プラスチック類（廃タイヤに限る） （積替え・保管を除く）	01501008550
新潟県	産業廃棄物処分業 許可の年月日 令和 4 年 11 月 28 日 許可の有効年月日 令和 9 年 11 月 4 日	中間処理（破碎処理） 廃プラスチック類 （廃タイヤに限り、石綿含有産業 廃棄物を除く）	01521008550

## (3) 施設等の状況

### 1) 産業廃棄物収集運搬車両の種類及び保有台数

- ・大型車 4 台
- ・中型車 4 台
- ・小型車 2 台
- 計 10 台

### 2) 産業廃棄物中間処分（破碎処理）施設

- ・破碎処理施設①  
施設の設置年月日 平成 14 年 9 月 9 日  
処理能力 26.4 t / 日（8 時間）
- ・破碎処理施設②  
施設の設置年月日 平成 15 年 6 月 17 日  
処理能力 4.93 t / 日（8 時間）
- ・破碎処理施設③  
施設の設置年月日 平成 29 年 5 月 31 日  
処理能力 4.93 t / 日（8 時間）

### 3) 受託した産業廃棄物の量（2022 年度）

#### ・収集運搬

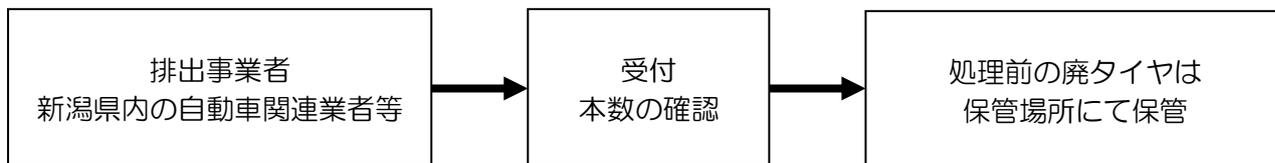
廃棄物の種類	単位	収集運搬量
廃プラスチック	t	3,728

#### ・中間処理

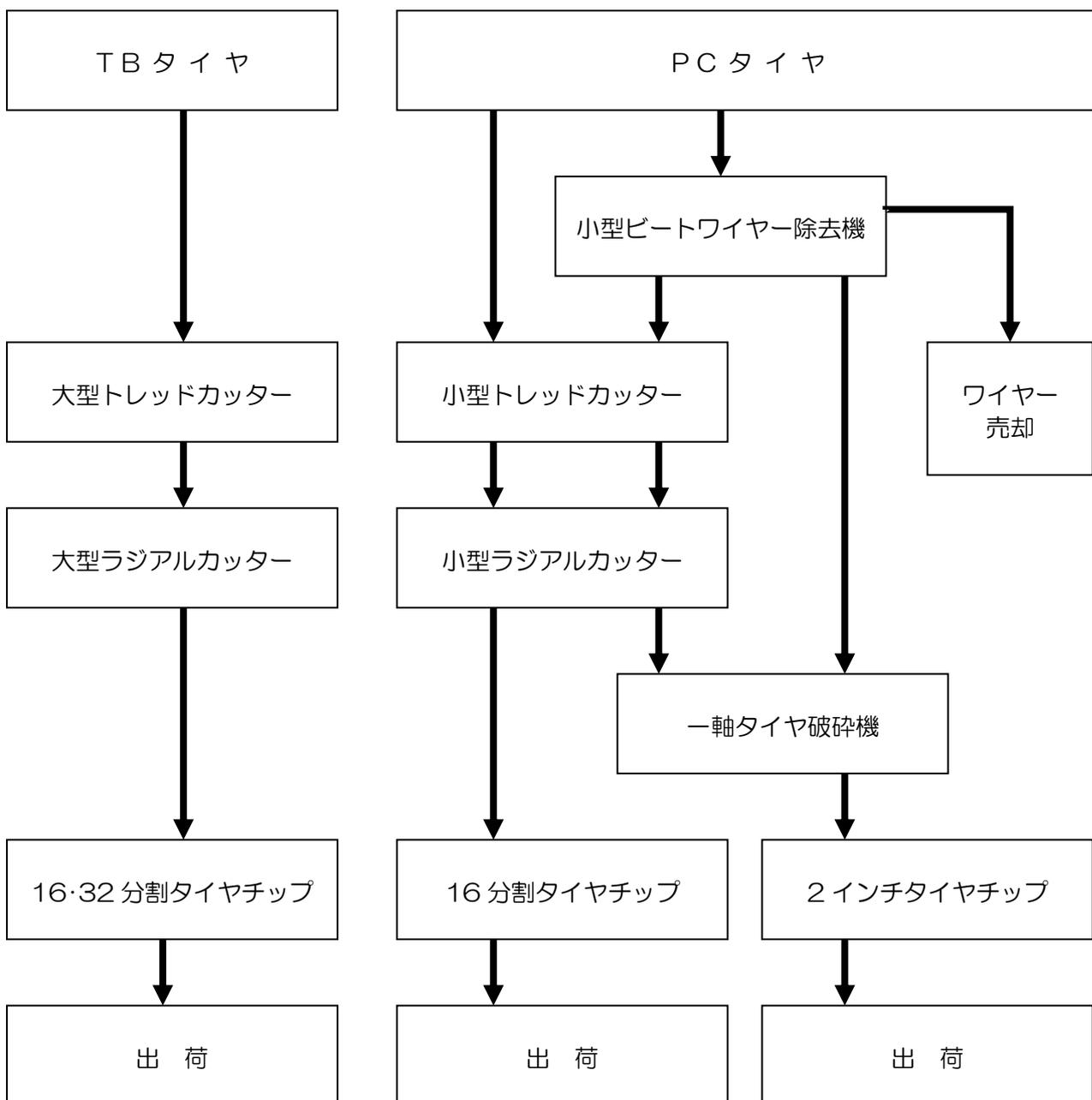
廃棄物の種類	単位	処理量
廃プラスチック	t	3,728

#### (4) 処理工程図

##### ◇産業廃棄物収集運搬



##### ◇中間処理施設



### 3. 環境経営方針

#### 新潟タイヤ株式会社 環境経営方針

##### <企業理念>

新潟タイヤ株式会社は、タイヤ販売業、廃タイヤ収集運搬業/中間処分業を営んでおり、これらの事業において環境に配慮し、廃タイヤを多彩な用途にリサイクルしていくことで、地球温暖化防止に努め、社会に優しい企業を目指します。

##### <行動指針>

1. エコアクション21 環境経営に積極的に取り組むためのシステム作りに取り組み、運用し、環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善に努め、環境関連法規を遵守する。
2. 環境目標への取り組みとして、行動計画に重点事項を定め、社会の環境活動に整合した活動を実行致します。
  - ① 電力、燃料使用の省エネに取り組み、二酸化炭素の排出量削減に努めます。
  - ② 廃棄物の分別に取り組み、廃棄物排出量の削減に努めます。
  - ③ 水使用量の削減、節水に努めます。
  - ④ 地域社会への協力・貢献に努めます。
  - ⑤ 廃タイヤ収集を促進、多彩な用途にリサイクルし、廃棄タイヤの削減をします。
  - ⑥ 排出事業者の排出状況を把握し、適切な収集運搬計画を立てます。
3. この環境経営方針を全従業員に周知し、環境保全への意識の向上に努めます。

制定日 2017年7月1日  
改定1 2018年5月15日  
改定2 2021年5月17日  
改定3 2022年7月14日

新潟タイヤ株式会社  
代表取締役 込山 芳廣

## 4. 環境経営目標・実績

### 中長期目標

	2016年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度
1.二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kWh)	102,205	△6%	△7%	△8%
(kg-CO2)	56,826			
・ガソリン・軽油 (L)	53,340	△6%	△7%	△8%
(kg-CO2)	136,236			
・CO2合計 (kg-CO2)	193,062	△6%	△7%	△8%
2.廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (kg)	261.6 (2018年度)	△4%	△5%	△6%
3.総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	339	△6%	△7%	△8%
4.環境対応型 サービスの提供 (t)	2,903 (2017年度)	+5%	+6%	+7%

※基準年度は、2016年4月～2017年3月

※CO2排出係数は、H27年東北電力(株)の実排出係数0.556kg-CO2/kWhを使用した。

※PRTR制度対象化学物質の使用は無く環境経営目標は設定していません。

### 2022年度(2022年4月～2023年3月)実績

	基準年 2016年	目標	実績 2022年	目標達成状況 ( )内は対目標比
1.二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kWh)	102,205	△6% 96,073	84,924	○(-11.6%)
(kg-CO2)	56,826	53,416	47,218	
原単位(kg-CO2/t)	18.54	17.43	15.00	○(-13.9%)
・ガソリン・軽油 (ℓ)	53,340	△6% 50,140	54,929	×(+9.6%)
(kg-CO2)	136,236	128,062	140,551	
原単位(kg-CO2/t)	55.17	51.86	37.7	○(-27.3%)
・CO2合計 (kg-CO2)	193,062	181,478	187,769	×(+3.4%)
・CO2合計 原単位 (kg-CO2/t)	73.71	69.29	59.68	○(-13.9%)
2.廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (kg)	261.6 (2018年度)	△4% 251.1	269.0	×(+7.1%)
3.総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	339	△6% 319	296	○(-7.2%)
4.環境対応型 サービスの提供 (t)	2,903 (2017年度)	+5% 3,048	3,146	○(+3.2%)

\*当年度原単価は電気及び電力・ガソリン・軽油は、タイヤチップ販売量(3,146t)、ガソリン・軽油は収集運搬量(3,728t)で実績数値を徐した値。\*4.環境対応型サービスの提供(t)はタイヤチップ生産販売量である。

○目標達成 △目標未達成但し基準年比減 ×目標未達成

## 2022 年度 CO2 総排出量

灯油、液化石油ガスを入れた CO2 総排出量	189,788 kg-CO2
------------------------	----------------

### 5. 環境経営計画・取組結果と評価、

#### 次年度の環境経営目標・環境経営計画

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の環境経営計画
<b>二酸化炭素排出量削減（電気）</b> ①照明管理の徹底 ・退室時の照明消灯。 ②空調管理の徹底（エアコン/ヒーター） ・設定温度 冷房 28℃暖房 20℃ ・フィルター等の清掃実施。 ③空気圧縮機の運転管理 ・始業前のエア漏れの音のチェック。 ④窓からの直射日光の防止 ・遮光カーテンに交換。	①退室時に消灯を促す POP を設置 こまめに消灯出来ている。 ②設定温度 冷房 28℃暖房 20℃ 熱中症対策の為 状況判断。 シーズン前にフィルター清掃実施。 ③ホースの劣化等早急に交換をする。 ④交換出来ていない為次年度に対応。 【○】 目標値達成	・継続して実施する。 ・必要以上のエアコン/ヒーター使用をしない。 ・不必要な電気のスイッチなどこまめにきる。 ・窓からの直射日光の防止 遮光カーテンに交換。
<b>二酸化炭素排出量削減（ガソリン・軽油）</b> ①効率的なルートを検討 ・収集依頼時に地域/数量を把握し効率の良い収集日ルートを決める。 ②エコドライブを全社員に徹底 ・「エコドライブ 10 のススメ」POP を各車に貼る。 ③定期的にタイヤの空気圧を確認/充填	①突発的な収集依頼があるが、概ね対応出来ている。 ②各運転者の運転技術/感覚の差をなるべく無くすよう指導。 ③繁忙期前にタイヤの空気圧を確認する。 【×】 目標値未達成 ・使用済みタイヤ収集量は減少。	・継続して実施する。 ・再度、収集効率の向上に努めエコドライブで収集運搬業務を行う。
<b>一般廃棄物排出量削減</b> ①社内文書は両面使用の呼びかけ ②ミスコピー/ミス印刷の消滅 ③業務上以外のゴミの管理	・再使用できるコピー用紙は 1 か所にまとめる。 ・コピー用紙の裏紙使用促進 ・業務上のゴミ/個人のゴミの分別 【×】 目標値未達成	・継続して実施する。 ・社内文書は両面使用の徹底 ・業務以外のゴミの自己管理徹底
<b>総排水量の削減</b> ①手洗い時などまめに蛇口の開け閉めを実践。 ②蛇口は完全に閉め、止まっているか確認する。 ③漏水防止の為毎月確認する。	①②節水を促す POP の設置。 ③漏水発見時速やかに対応する。 【○】 目標値達成	・継続して実施する。 ・従業員に節水意識の向上を呼びかけ引き続き節水を徹底する。
<b>環境対応型サービスの提供</b> ①新規販売先の開拓に努める。 ②処理工程の少ない出荷先の開拓 ③取引先、取引商社に情報収集。	①新規納入先契約 【○】 目標値達成	・継続して実施する。 ・取引状況など情報収集。

注記：中間処理量は収集運搬量の同量を処理しています。  
 次年度の環境経営目標はp6に記載したとおりです。  
 次年度の環境経営計画は上表のとおりです。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果

### 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、2022年9月9日遵守評価の結果、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

区分	法規制名	厳守内容	評価の結果
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> <li>・産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例（新潟県）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物処理基準の遵守/マニフェストの適正管理</li> <li>・産業廃棄物の収集運搬及び処分の許可、変更事項の許可</li> <li>・産業廃棄物処理施設の許可、変更事項の許可</li> <li>・特定物保管基準の遵守</li> </ul>	○
車両運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路運送車両法</li> <li>・道路交通法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検の実施</li> <li>・速度超過/過積載の禁止</li> </ul>	○
消防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火器の設置</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田地域広域事務組合火災予防条例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定可燃物貯蔵/取扱い</li> </ul>	○
騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県生活環境の保全などに関する条例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規制基準の遵守</li> </ul>	○
浄化槽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11条検査の実施</li> </ul>	○

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

2022年度の取組みも終わり、昨年度に比べて、電力使用量は削減しCO2削減目標達成。今後も必要以上のエアコン/ヒーター使用をしない、不必要な電気のスイッチはこまめ切るなど節電に関しての声掛けを継続して行い使用量の削減に努める。

自動車燃料使用量は基準年度使用量に比べ増加しCO2削減目標未達成。なお、当該原単位目標は達成。電力・軽油・ガソリン由来の合計CO2は、基準年度実績に比べ減少しているが削減目標は未達成。

エコドライブを継続して取組み、加減速の少ない運転、ふんわりアクセル、早めアクセルオフ、アイドリングストップ等、燃費削減とCO2削減に努める。引き続き指標のモニター、データの集約等、継続的に実施し、課題として挙げたことを意識して社員の協力のもと目標達成に努めたいと思います。

今回、環境経営方針、環境経営目標、環境活動計画及び実施体制については、見直しの必要性はありません。（以上）